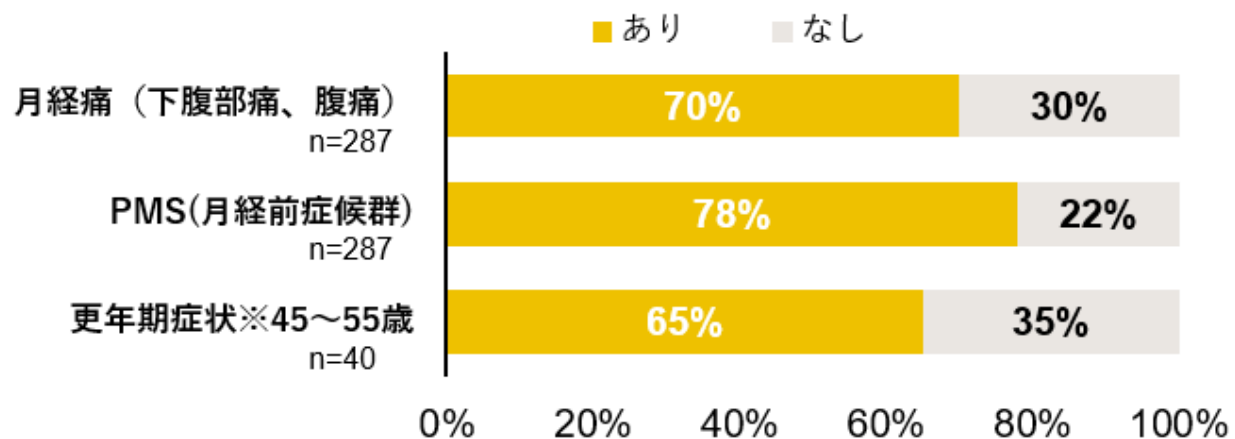


# トピックス① 女性特有のからだの悩み

- ☞  働く女性の多くが、月経痛、PMS、更年期症状など女性特有のからだの悩みを抱えながら仕事をしている。
- ☞  女性特有のからだの悩みは、ライフステージによって変化する。

## 女性特有の症状についての有無



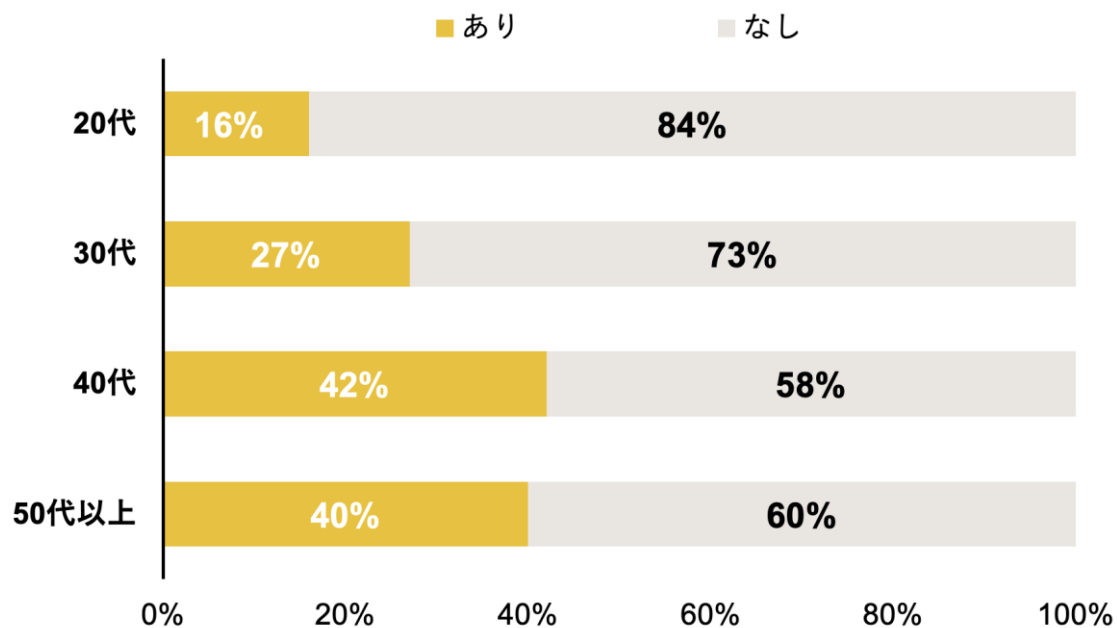
## 年代別 主な婦人科受診理由

20代	不規則な月経・月経痛
30代	PMS症状
40・50代	月経痛・更年期症状 (身体的症状)

## トピックス② 経腔超音波検査の有所見率

👉 □ 経腔超音波検査を受診した女性の26%で、  
子宮筋腫や卵巣嚢腫などの婦人科疾患が認められた。

経腔超音波検査の年代別有所見率



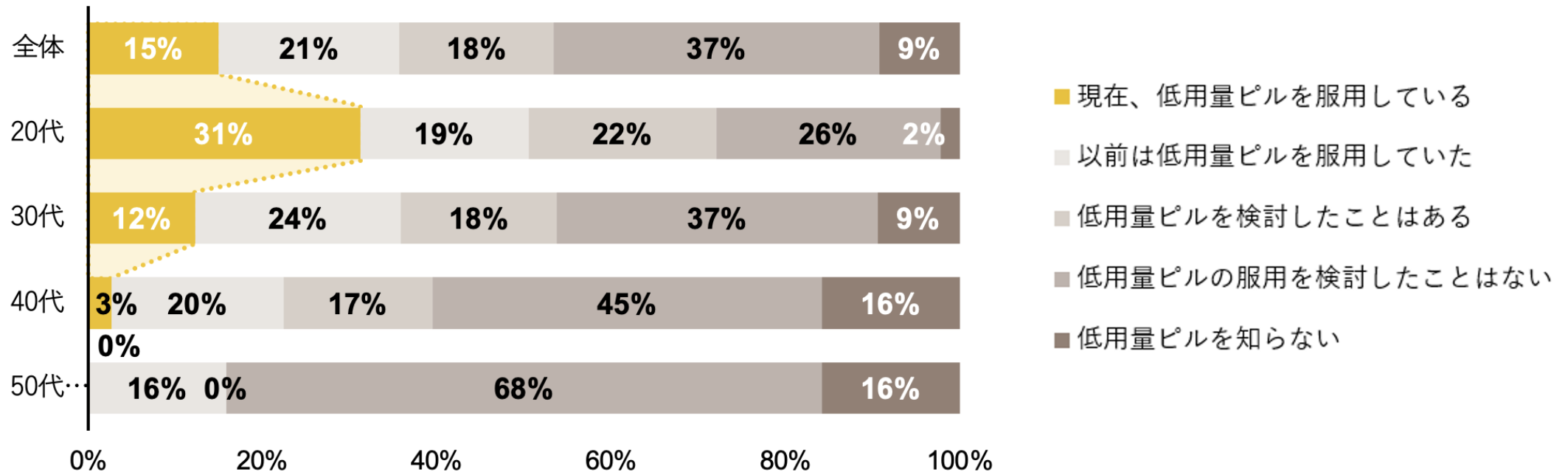
所見が見つかった人のうち  
産婦人科に通院したことがない

3人に1人

# トピックス③ 低用量ピル服用率

- 低用量ピル服用率は、全体で15%。年代別では20代31%、30代12%。
- 全国平均2.9%と比べると、約5倍と極めて高いことが分かった。

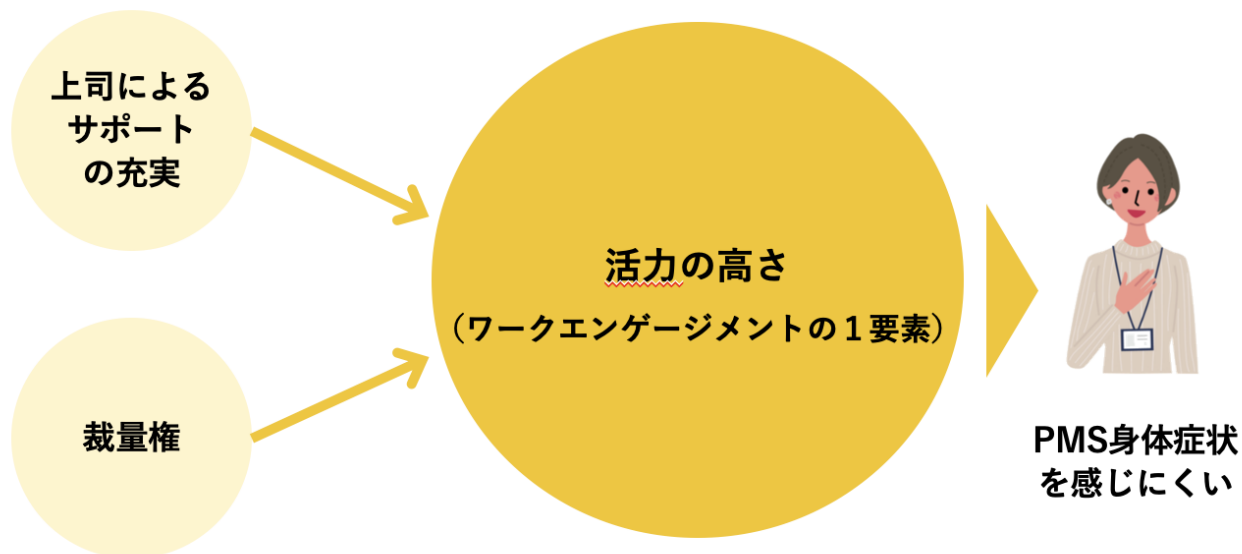
低用量ピルの服用率



## トピックス④ 女性特有の症状と働き方

- ☞ □ 上司のサポートと自分のペースで仕事ができる裁量権により、女性特有の症状を感じにくくなるという可能性が示唆された。
- ☞ □ 在宅勤務はPMS症状の軽減に寄与する可能性が示唆された。

### ワークエンゲージメントによる効果



### 在宅勤務によるPMS症状の軽減

